

まえばし 市議会だより

No.177

2026・8

前橋市議会発行



— 主な内容 —

- 第2回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.2～3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

道の駅まえばし赤城台湾フェア2026
【台湾ランタン展示】



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

令和八年第二回定例会を六月十一日から三十日まで開き、「令和八年度前橋市一般会計補正予算」などの市長提出議案四十四件、意見書案十三件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（6月11日）

近藤登議長が第二回定例会の開会を宣告した後、会期を六月十一日から三十日までの二十日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、議案第六十三号「令和八年度前橋市一般会計補正予算」など二十件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（6月18日）

上程中の議案や市政に対し、十人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ10ページに掲載）

○第3日（6月19日）

前日に続き、十一人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（6月22日）

十九日に続き、九人の議員が

総括質問を行いました。

次に、上程中の議案二十件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から議案第六十六号から第六十八号まで及び第八十号に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決及び承認しました。（議決結果は11ページに掲載）

次に、県外先進地調査のため議員派遣四件を議題とし、申し出のとおり承認しました。

○第5日（6月30日）

初めに、農業委員会の委員の任命に係る人事案件（件名及び氏名は11ページに掲載）の市長提出追加議案を上程し、採決を行った結果、同意しました。

次に、議会の意思として、市民の公益に関する意見を県、国会及び関係行政庁に提出しようとする意見書案十三件を上程し、

議員表彰



長年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績に対し、近藤好枝議員が議員20年以上で、全国市議会議長会から表彰されました。

令和8年第2回定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達が行われ、次いで、議長及び市長から感謝状が贈呈されました。

会派別の質問事項

採決を行った結果、「第八十三回国民スポーツ大会開催に係る支援強化を求める意見書」など五件を可決し、第二回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

□前橋高志会

①千代田町中心拠点地区再開発事業②国民スポーツ大会開催に向けた対応③空き家対策④上下水道インフラの見える化⑤ゾーン三十プラス⑥

一般会計補正予算などを可決

補正後の予算額は1619億円

治療用装具の療養費⑦二中地区（第二）のまちづくり⑧まえばし幼稚園と第一保育所の統合移転⑨小中学校の施設⑩社会教育ビジョンの作成⑪教職員の人事評価⑫柏川地区公共施設整備⑬前橋市公営住宅等長寿命化計画⑭通信指令装置の整備⑮マイナ救急の本格運用⑯これからの前橋市⑰前橋市政策アドバイザー⑱スノーピーク赤城キャンプフィールド⑲小中一貫教育の検討⑳前橋市人材育成・確保基本方針の改正㉑第八次前橋市総合計画の策定㉒湯けむり国スポ・全スポぐんまに向けた施設整備状況㉓財政㉔地域未来戦略㉕貸館システム㉖高校の授業料㉗地域の諸課題㉘高齢者対策㉙広瀬川



◀議場での議案審議

河畔緑地の利活用促進③国際芸術祭③下水道事業におけるウォーターPPPの導入③土地利用制度の見直し③総合福祉会館、第四コミュニティセンターの設備機器更新③各所管におけるシステム更新③旧宮城幼稚園の利活用③子育て支援③クビアカツヤカミキリ対策

□**前橋令明** ①市政運営の基本方針②前橋テルサ③小学校体育館の空調④食中毒⑤職員の健康⑥地域の諸課題⑦不登校⑧地域づくり⑨市民活動⑩障害者スポーツ⑪外国人共生社会⑫キャッシュレス化推進⑬長寿命化計画⑭前橋市広瀬スポーツ・カルチャーセンター⑮本市のガバナンス体制⑯駐車場⑰本市の魅力向上⑱本市の稼ぐ力向上⑲スロースティ⑲国スポ⑲赤城山観光

②再生可能エネルギーの活用③クリエイティブシティ構想④公共交通の諸施策⑤めぶくPay⑥経済センサスの実施⑦公共交通政策⑧子育て環境の整備

□**公明党市議団** ①今後の市政運営②前橋市観光ビジョンの策定③前橋版DMO参画への期待④受動喫煙防止の取組⑤部活動⑥電子文書の管理⑦職員の人事管理⑧学校における働き方改革⑨若者政策⑩廃棄物処理

□**日本共産党市議団** ①市長の政治姿勢②低所得者に対するケア③設置補助事業④中東情勢の影響による中小業者への支援④公共交通の拡充⑤物価高騰から市民生活を守る施策の拡充⑥柏川地区の住民要望に応える施設整備⑦土地利用制度の見直しの問題点⑧東地区の諸課題⑨遠見山古墳の住民要望に応える保存

□**まえばし市民クラブ** ①今後の市政運営②誰も取り残されないまちづくり施策充実③本市職員の働き方、休み方改革④公共交通施策の充実⑤防災⑥前橋の農政⑦環境問題⑧教育委員会のじんかい車（パッカー車）の購入⑨小中学校の樹木の剪定⑩前橋市水道局公有地利活用事業⑪PTA

【委員会行政視察】

所管事務について調査するために県外行政視察を行いました。

委員会、期間	視察先、調査事項
教育福祉常任委員会 5月20日～22日	埼玉県上尾市：子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」 岩手県北上市：ひきこもり支援 宮城県仙台市：(1)せんだいメディアテーク ：(2)食育の推進
市民経済常任委員会 5月20日～22日	静岡県浜松市：スマート農業、ユニバーサル農業 兵庫県明石市：(1)ネイチャーポジティブの実現に向けた取組 ：(2)ゼロ・カーボンあかし ：(3)ゼロ・ウェストあかし 岐阜県中津川市：中津川ひと・まちテラス
総務常任委員会 5月25日～27日	東京都荒川区：荒川区民総幸福度（GAH） 兵庫県姫路市：行政情報分析基盤 滋賀県長浜市：投票率向上の取組
建設水道常任委員会 5月25日～27日	静岡県静岡市：静岡市版パークレット「ハニカムスクエア」 広島県広島市：広島駅南口の再整備等 兵庫県神戸市：下水から回収「こうべ再生リン」
議会運営委員会 7月15日～16日	静岡県島田市：島田市議会の議会運営 静岡県掛川市：掛川市議会の議会運営

□**前橋豊輪** ①前橋市の将来像

②公共施設の在り方、複合化③消防施設④鉛製給水管⑤地域要望⑥国民スポーツ大会⑦ごみ施策⑧市民生活⑨市営住宅の入居促進⑩にぎわい創出⑪市のホームページ

□**なないろ** ①保健所業務②粕川農産物加工施設③教育④こどもの居場所づくり支援体制強化事業

□**無所属の会** ①動物愛護②財政③まちづくり④市内施設
□**曉鐘** ①まちづくり②重層的支援体制整備事業③育児を支える

る職場環境

□**無所属クラブ** ①農業施策②赤城南麓の観光施策③教育施策

□**七星** ①前橋市の文化芸術活動②前橋テルサ再利用

議 会 日 誌

五月から七月までに開催した主な会議は次のとおりです。（）内は開催回数です。

本会議(5)、総務・市民経済・建設水道常任委員会(1)、教育福祉常任委員会(2)、議会運営委員会(6)、各派代表者会議(4)、議会図書室運営委員会(1)

質問

GUNMA 2029
満げれ国スホ全スホ



前橋高志会
小曽根 英明



再開発事業の今後

〈問〉千代田町中心拠点地区再開発事業は、新築に限らず既存建物の改修や用途変更など、事業費の抑制を図りながら都市機能を確保する方向へ変化しています。国においても民間投資の促進など、中心市街地再生を後押しする制度の充実が図られています。今後事業をどのように進めていくのか伺います。

〈答〉施設構成や事業規模の見直しに加え、国の新たな制度の活用も含め、現在、抜本的計画の見直しに取り組んでいます。準備組合と連携し、実現性の高い事業計画の再構築に努めます。

国民スポーツ大会の財源確保

〈問〉他自治体では、国スポのレガシーとして継続してスポーツ振興財源に充てられるような基金を設置する事例があります。

本市は、国民スポーツ大会に向けた独自の財源確保にどのような考えで取り組むのか伺います。

〈答〉企業版ふるさと納税などを活用し、寄附促進を図っています。更に、新たな基金設置に早期に取り組みたいと考えます。



前橋高志会
小川 真太郎



新認定こども園の役割

〈問〉まえばし幼稚園と第一保育所の統合移転について、新認定こども園は、本市の幼児教育の中でどのような役割の施設にしようとしているのか伺います。

〈答〉医療的ケア児や多国籍など特別な支援が必要な子どもたちの受け入れや、発達段階に応じた質の高い幼児教育、保育の提供などを行いたいと考えています。また、幼児教育センター機能のうち、研修や幼児教室の一部などを行えるよう関係部課と協議したいと考えています。

学校の変電設備などの更新

〈問〉学校施設への安定した電力供給のためには、変電設備や高圧ケーブルの適切な維持管理が重要だと考えますが、小中学校の変電設備及び高圧ケーブルの老朽化対策について伺います。

〈答〉受変電設備の更新は年間

二校、高圧ケーブルの更新は年間三校を目安に実施しています。受変電設備の更新を行う際は、高圧ケーブルも同時に更新することです。安全性の向上と維持管理の効率化を図っています。



前橋高志会
関 俊夫



粕川地区の公共施設

〈問〉粕川地区の各公共施設が一斉に老朽化の時期を迎え、安全管理や維持管理の在り方が改めて問われています。粕川地区にある各公共施設の補修や更新について、どのように考えているのか伺います。

〈答〉施設を一つずつ修繕、更新する方法と粕川支所や隣保館などを含めた複合施設として一体的に整備する方法の両方を視野に入れて、地域の意向を反映しながら検討を進めていきます。

団地の用途廃止

〈問〉江木第一団地と芳賀第七団地の用途廃止を進めるに当たっては、入居者一人一人の生活や地域とのつながりにもじゅうぶん配慮し、入居者に寄り添った支援が重要だと考えますが、今後の対応について伺います。

〈答〉入居者の皆さんへの説明会やアンケートの実施に加え、

個別訪問によるヒアリングを通じて今後に関する意向を丁寧に把握し、不安の軽減に配慮しながら、きめ細かな対応に努めていきます。



前橋高志会
林 倫史



小中一貫教育の検討

〈問〉小中一貫教育は、異学年の交流がしやすいことや、いわゆる中一ギャップの緩和につながる効果が期待できるなど、メリットの多い取組だと感じます。本市においても少子化の進行により児童生徒数が減少し、適正規模、適正配置の取組を進めていると承知しています。隣接校との統合や通学区の見直しだけでなく、小中一貫校や義務教育学校など小中一貫教育の推進も一つの方策として検討する必要があります。小中一貫教育についての①これまでの検討状況②当局の見解を伺います。

〈答〉①県内外の義務教育学校を視察し、先進校の実践の成果や課題などを研究してきました②小中学校の適正規模、適正配置について、適正規模地区委員会を設置し、自治会やPTAなどさまざまな立場の人が委員になり協議を行っています。子ども

もたちのよりよい教育環境の整備、充実の視点から、適正規模地区委員会で適切に情報提供を行っていきたいと考えています。



前橋高志会
須賀 博史



国スボに向けた施設整備

〈問〉国スボに向けた施設整備は、単なる競技環境の向上にとどまらず、大会後の地域の魅力や価値を左右する極めて重要な事業だと考えますが、本市の整備状況について伺います。

〈答〉交付金や県の補助制度を活用し、ビーチコート整備やテニスコートの人工芝張り替えのほか、会場トイレの洋式化を計画しています。また、女子が安心して競技に臨めるよう、女子更衣室や利用環境の改善についても検討を進めたいと考えます。

高校の授業料支援

〈問〉高校の授業料を負担する高等学校等就学支援金は、令和八年度から見直しが行われますが、どう変わったのか伺います。

〈答〉令和八年度から所得制限が撤廃され、原則として申請手続きを行うことで全ての対象生徒が支援を受けられる制度へ変更されました。なお、市立前橋高校においては、就学支援金が

生徒や保護者へ直接支払われるのではなく、市が代理受領して授業料に充当します。



前橋高志会
新井 美加



老人クラブ活動継続の取組

〈問〉老人クラブは減少の一途をたどっていますが、地域のコミュニティは見守りや災害のときに大いに役立ちます。高齢者がいきいきと暮らすうえで老人クラブの役割は重要だと考えますが、これまでの取組状況や今後の展開について伺います。

〈答〉補助金申請できる会員数の要件や、クラブ加入要件の緩和などを行ってきました。今後も、より地域の実情に沿って活動を継続できるよう、前橋市老人クラブ連合会などとも連携して取り組みたいと考えます。

前橋国際芸術祭の情報発信

〈問〉前橋国際芸術祭は民間主導の芸術祭ですが、市の観光としてコラボすれば今後の前橋市の発展につながると考えます。現時点の周知啓発の取組状況と今後の対応について伺います。

〈答〉主催者においてSNSなどで情報発信が進められており、本市も来訪者の利便性向上や回遊促進に資する情報提供などで

支援していきたいと考えます。



前橋高志会
藤江 彰



まちのまとまりの形成

〈問〉土地利用のあり方に関する検討会議では郊外の拠点として、まちのまとまりエリアを設定し、市街化調整区域では開発許可制度見直しの方針が示されています。一方、まちのまとまりに該当しない地域からは、地域が取り残されているのではと不安の声も聞かれます。まちのまとまり外にある既存の地域コミュニティでは、若い人たちが入ってこなくなるのではと危惧していますが、見解を伺います。

〈答〉パブリックコメントや説明会では、土地利用見直しを進めるべきとの意見が多かったものの、まちのまとまりに位置づけられない地域の将来を不安視する意見も多くあり、市も受け止めています。まちのまとまりに該当しない地域でも、地域コミュニティや生活環境の維持は重要だと認識しており、都市

計画制度の活用に加え、空き家など既存ストックの有効活用観点から、開発許可制度の運用の検討を進めていきます。



前橋令明
市村 均光



土地利用制度の見直し

〈問〉城南地区はスーパー一つない地域で、三千平米以下の食料品スーパーへの土地利用制度の見直しが示され、指定路線沿道のみ適用されますが、城南地区の①指定路線の状況と延伸の可能性②生活利便性向上につながるのかの見直しを伺います。

〈答〉①国道五十号の上武道路との交差点より西側の区間が指定されています。延伸については、道路交通網の整備状況や周辺の土地利用の状況などを踏まえ、見直しの必要性を検討します②日常的な買い物環境など、生活サービスの確保につながるものと考えます。

粕川地区の新施設

〈問〉粕川地区新施設について、基本構想の策定から供用開始に至るまでの具体的なスケジュールと今後の見通しを伺います。

〈答〉令和八年度中の基本構想の策定を目標とし、令和九年度に用地の選定、令和十年度に設

計、令和十一年度から十二年度に土地造成及び建築工事を進め、令和十三年度の供用開始を目標としています。



前橋令明
林 幸一



前橋テルサの今後

〈問〉前橋テルサ事業提案型公募の公募結果に納得がいかない市民や、前橋テルサに思い入れのある市民も多くいる中、今後について市長の見解を伺います。

〈答〉民間での活用が厳しい以上、施設をそのままにしておくのは維持費や安全面の問題もあるので、解体する場合の費用や手続きなどについて庁内で検討を進めていきたいと考えます。

小学校体育館の空調整備

〈問〉熱中症対策が急務となり、学校体育館空調整備について、中学校では令和七年度におおむね完了し、令和八年度からは小学校の体育館に着手するとのことで、①今後の対象校と年度別の整備計画②空調設置に係る学習効果について見解を伺います。

〈答〉①令和八年度は全四十七校のうち城南小、大利根小、芳賀小、時沢小で実施設計に着手し、令和九年度に工事を実施予定で。以降は年間六校のペー

スで令和十六年度までの設置完了を目指します②体育の授業や外遊びが体育館で行えるようになることで、児童生徒の体力低下などの改善が図れることが期待できます。



前橋令明
佐藤 祥平



外国人児童生徒への初期指導

〈問〉日本に来て間もない外国人児童生徒が円滑に学校生活を送れるよう、日本語指導スタートアッププログラム事業を開始しています。①令和七年度の実績と令和八年度の現状②保護者へ行っている事業を伺います。

〈答〉①初期指導員が日本の学校生活の基本的ルール、挨拶の仕方や授業の受け方などの初期指導を行っています。令和七年度は十三名に延べ百五十八日間、令和八年度は六月までに六名に對して指導を行っています②親と子の日本語指導スタートアッププログラムを実施しています。

自治会や地域活動団体との連携

〈問〉広瀬スポーツ・カルチャーセンターが地域に親しまれ、地域コミュニティの活性化につながる施設になるために、地元自治会や地域活動団体との連携や施設活用への参画をどのよ

うに進めていくのか伺います。

〈答〉施設の管理運営主体とも連携を図りつつ、地域の人たちの意見を踏まえた事業の実施や交流機会の創出に努めていきたいと考えています。



前橋令明
木部 秀人



財政状況の課題認識と対応策

〈問〉本市の財政収支見通しは継続的に厳しい状況が続くとのこと、このような財政状況に至るまでの全庁的な取組において、どのような課題認識を持ち、今後の対応策を講じていくのかを伺います。

〈答〉事業総点検は部局ごとの個別最適化にとどまり、全体の政策形成の視点が持ちにくい側面がありました。民間の動きの変化への対応や市全体の方針決定のプロセスなどの課題もあると感じています。令和八年度は政策レビューを実施し、市政運営の基本方針を共通の判断軸として、全庁横断的な事業見直しや優先順位などを整理しながら取り組めます。市民サービスの



充実、暮らしの安定につながる視点が重要だと考えています。

元総社蒼海土地区画整理事業

〈問〉遅れに悩まされている元総社蒼海土地区画整理事業の進捗度合いについて伺います。

〈答〉現在は家屋が集中している箇所の建物移転を進めている状況です。事業進捗率は令和七年度末において六九％です。



前橋令明
下田 一成



スローシティの今後の展開

〈問〉広報まえばしの連載コラムを通じて、スローシティの視点から地域資源の価値を継続的に発信する取組が進められ、第一回として時沢大根復活プロジェクトが紹介されました。こうした取組を踏まえ、今後スローシティの推進をどのように発展させ、本市のブランド形成や市民の愛着の醸成につなげていくのか、その具体的な展開について伺います。



〈答〉スローシティの考え方に基づき、多様な地域資源について切り口を広げながら、取材、発信の対象を拡大し、地域の魅力を分かりやすく発信します。

また、スローシティの取組は、地域や地元主体で展開されるもので、市としては主体的な取組をつなぎ、広く紹介、発信することで、その価値の共有と広がりを図っていきます。これらの取組を通じて市民の愛着と誇りの醸成を図るとともに、地域資源の持続的な活用と次世代への継承につなげ、本市の魅力向上とブランド形成の強化に資する施策として推進していきます。



前橋 明
水野 芳宣



群馬総社駅西口開設の進捗

〈問〉群馬総社駅西口開設の進捗について、都市構造再編集集中支援事業を活用し、更なる前進が期待される一方、全国的な需要高騰による国の補助金の確保が課題だと伺っています。財源確保の課題を踏まえ、今後どのような方向性の下で事業を推進していくのか見解を伺います。

〈答〉限られた補助金を有効活用し、施工に必要な作業道路の確保に向けた関連する用地取得

を優先的に進めています。引き続き丁寧な説明と対話を重ね、きめ細かな対応に努めます。

駒寄スマートインターチェンジ

〈問〉駒寄スマートインターチェンジ産業団地を更なる認知度向上や地域に親しまれる拠点とするため、地元住民からは地区名の清里を盛り込んだ愛称を設定して欲しいとの強い要望があります。愛着形成や地域共生の観点から、愛称導入が望ましいと考えますが見解を伺います。

〈答〉立地企業に対する一定の配慮も必要だと認識しています。効果などを総合的に勘案しながら、引き続き研究していきます。



公明党市議員
中里 武



市政運営の基本方針

〈問〉議会へ対し、市政運営の基本方針に関する説明会が行われましたが、①政策の優先順位決定に対して必要性、重要性をどう見極めるのか②今般の財政状況の下、要望や陳情にどのように対応するのか伺います。

〈答〉①政策レビューを導入し、暮らしの安定と地域経済の好循環

環という判断軸を持ち、決定します②内容を丁寧に受け止め、優先順位を踏まえて対応します。

情報の共有

〈問〉市民や民間に対し、財政状況や課題を段階的に正しく伝え、市民、行政、事業者が一体となり乗り越えていける要素を明確に示すべきですが見解を伺います。また、議会との情報共有をどう進めるのか伺います。

〈答〉財政状況や各種取組などを分かりやすく示し、市民の理解と共感を得られるよう努めます。議会へは政策レビューの進捗などを節目ごとに報告し、意見をもらいながら進めます。



公明党市議員
明野 康剛



小中学校の新年度準備

〈問〉本市の小中学校では、四月一日から始業式、入学式までに新年度準備を行える平日の日は四日程度と限られています



教職員の新年度準備期間の確保を

が、①授業時数の確保と教職員の新年度準備期間の確保を両立する方策②学年始休業日の見直しについて見解を伺います。

〈答〉①校務補助員を任用するなど教職員の事務軽減を図っています②県や周辺の市町村とも現状の実態や課題を共有し、研究を進めたいと考えています。

子どもや若者の居場所づくり

〈問〉地域のつながりの希薄化や核家族化が進む中で、子どもや若者の居場所づくりは、ますます重要になると考えますが、見解を伺います。

〈答〉居場所づくりは重要と考えています。児童育成支援拠点事業について実施が求められているため、よりよい居場所を提供できるよう実施に向け検討を行っています。



公明党市議員
高橋 昭代



受動喫煙対策

〈問〉市有施設などに設置されている喫煙所は開放型で、受動喫煙対策が取られていません。本市のたばこ対策が停滞してきた背景には、関係部局が多岐にわたり、行政の縦割りの弊害があると考えます。市民や来訪者を受動喫煙から守るため、閉鎖

質問

型の屋外分煙施設の設置に取り組んでもらいたいと考えますが、市長の見解を伺います。

〈答〉現在の喫煙所の設置状況を確認し、具体的な対策ができるか検討したいと思います。

部活動の遠征における送迎

〈問〉市立前橋高校の部活動の遠征などで、教員が大型バスなどを運転して送迎を行っている現状について、勤務時間管理や安全管理の観点からどのように認識しているのか伺います。

〈答〉教員の身体的、心理的な負担軽減や生徒の安全確保の観点から課題と捉えていて、民間事業者の活用など管理運営面の在り方を検討したいと思います。



日本共産党市議員
近藤 好枝



中期財政見直し

〈問〉本市が五月に公表した中期財政見直しで、財政調整基金は二〇二九年度末に枯渇すると公表しましたが、打開策は示されず、危機感だけを強調したものではありませんかと考えます。中心街の再開発は縮小するなど、最優先すべき課題を洗い直し、市民の暮らしや福祉、子育て施策に振り向けるような抜本的な見直しを行い、市民に示すべきと

考えますが、見解を伺います。

〈答〉市民にも状況を共有したうえで、市政運営の方針を説明し、状況を改善していくよう見直しを続けるということです。持続可能な自治体運営を目指して、市全体で進んでいくための一つのきっかけと考えています。



日本共産党市議員
吉原 大輔



デマンドバスの乗り入れ

〈問〉富士見地区、芳賀地区のるんるんバスの南橋地区への乗り入れについて、地域の皆さんからは、路線バスの停留所までの間にバスを走らせてほしいという声が寄せられています。市民の要望に応じて、デマンドバスの乗り入れを検討すべきだと考えますが、見解を伺います。

〈答〉るんるんバスは南橋地区において、国道十七号沿いや大型医療機関など、計四か所に例外的に停留所を設置しています。



るんるんバス

地区外の停留所を増設した場合、運行効率の低下や低廉な移動手段であるデマンドバスが他の公共交通機関へ及ぼす影響も懸念されることから、引き続き慎重に対応したいと考えています。

〈問〉飲食料品の値上げラッシュが続き、原材料費はもとより、梱包資材、物流費も高騰しています。全市民に一人三千円の給付をしています。市民からは他の自治体と比べ、前橋市の支援が弱すぎるとの声があります。市独自に低所得世帯への上乗せ給付を行うなど支援が必要と考えますが、見解を伺います。



日本共産党市議員
小林 久子



市独自の低所得世帯への支援

〈問〉財政状況が厳しい現状において市独自の追加給付を行うことについては、国の交付金など財源確保がかなう場合に、市全体の物価高対策や生活者支援の中で検討されるものと考えます。国では、現在、給付付き税額控除の検討を行っているので、国の動向も注視していきます。

〈答〉財政状況が厳しい現状において市独自の追加給付を行うことについては、国の交付金など財源確保がかなう場合に、市全体の物価高対策や生活者支援の中で検討されるものと考えます。国では、現在、給付付き税額控除の検討を行っているので、国の動向も注視していきます。



日本共産党市議員
吉田 直弘



東地区の保育環境整備

〈問〉東地区は東保育所も民間保育施設も三歳未満児保育の受け皿が不足するなど、保育環境の改善に取り組む必要があると考えますが、見解を伺います。また、旧県立保育大学校跡地を活用した一時預かりの実施や、子ども、子育て施設整備の検討について、見解を伺います。

〈答〉東保育所は敷地が狭隘で、定員拡大は難しい状況です。市全体では保育の受け皿は確保されていて、近隣地区の保育施設を案内し、潜在的待機児童が発生しないよう取り組んでいます。公立保育所は再整備基本方針に基づき、施設の老朽化状況や地域の保育需要などを総合的に勘案し、再整備を進めています。



まえばし市民クラブ
三森 和也



制度のはざまへの対応

〈問〉こどもフードパントリー事業の対象者に関し、児童扶養手当受給者を認定要件とすることから、離婚成立後またはDV防止法に基づく保護命令を受けている必要があり、母子生活支

援施設入所者などが制度のはざまになっていきます。対応を求めてきましたが、経過を伺います。

〔答〕 実態把握のため、施設へのヒアリング、検討を重ね、施設入所者においては児童扶養手当の認定を受けていなくても、実態としてひとり親家庭であると認定した場合はフードパントリーを受けられるよう、令和八年から制度を拡充しました。今後も実態に即した対応ができるよう拡充を検討していきます。



まえばし市民クラブ
大澤 智之



感震ブレーカーの普及啓発

〔問〕 大規模地震後の火災の多くが停電復旧時における通電火災であると指摘され、被害拡大の大きな要因となっています。こうした背景を踏まえ、地震の揺れを感じて自動的に電気の供給を遮断する感震ブレーカーの有効性が注目されています。



本市においても地震による二次災害防止の観点から感震ブレーカーの普及啓発は重要だと考えますが、その取組を伺います。

〔答〕 リーフレットの配布やホームページなど各種媒体を活用し、有効性や性能の周知を図っています。また、各種イベントでデモ機を用いた実演を行うなど、体験型の普及啓発にも取り組み、理解促進に努めています。



まえばし市民クラブ
角田 修一



公有地の効果的な活用

〔問〕 水道局の公有地活用事業は、事業者が発電設備を設置し、所有、維持管理したうえで、発電された電気を水道局で購入するしくみで、将来的な清里前原受水場の更新用地として未利用状態だった土地の有効活用として実施しました。本市の財源が厳しい中で、公有地の利活用はたいへん重要と考えます。稼ぐ公有地の効果的な活用について伺います。

〔答〕 保健センターの集約や小中学校の統合後の跡地活用で、歳出削減や歳入確保のみならず、

新たな価値の創出を図っています。今後もこれまで以上に稼ぐ公有地の効果的な活用方法を視野に入れて取り組めます。



前橋豊輪
山田 秀明



前橋の目指す都市像

〔問〕 魅力ある都市整備を行い、ある程度思い切った政策展開をしていかなければ魅力ある都市とはならないと考えます。都市構造や他市との連携状況、交流、関係人口について、目指す前橋の都市像について伺います。

〔答〕 特に郊外の地域において、住宅地の人口密度を上げていくこと、生活の拠点をまとめていくこと、農業とのバランスを取りながら開発していくことが必要と考えます。郊外地域の快適な暮らしと働く場所や関係人口の増加、増やしていくくみを作り、広域の連携を進めることで地域の快適な暮らしを更に進めていきたいと考えています。

鉛製給水管取替工事の助成

〔問〕 鉛製給水管の工事費助成について、①利用状況の推移②県内の自治体における助成制度の状況について伺います。

〔答〕 ①鉛製給水管取替工事助成制度は、令和五年度に助成上

限を十五万円に見直し、制度創設当初は年平均十七件の申請でしたが、令和七年度は七十九件となりました②県内で助成制度を設けているのは本市のみです。



前橋豊輪
吉田 博昭



国民スポーツ大会の宿泊需要

〔問〕 国民スポーツ大会では、本市は県内最多の十四競技を担当し、相当数の宿泊需要が見込まれます。本市の宿泊見込み人数と市内の宿泊施設の受け入れ可能人数について伺います。

〔答〕 本市では大会期間中に一日当たり選手、監督が約八千人、競技役員が約二千五百人で、合計約一万五千人の宿泊需要が見込まれます。一方、市内の宿泊施設は約三十軒で、一日当たり最大受け入れ可能人数は約二千八百人となり、宿泊需要が供給を大きく上回る状況です。

草木類資源化の概要と状況

〔問〕 草木類の資源化について、令和八年六月一日から実証事業が開始しましたが、事業の概要、開始後の状況について伺います。

〔答〕 家庭から出る剪定枝、落ち葉、雑草などをバイオマス燃料として資源化するため、市内六か所に専用コンテナを設置し

総括質問

回収するものです。事業開始後は、頻繁に回収しなければ間に合わない状況が続いており、市民ニーズに対応した利便性の高い事業だと考えます。



なないろ
入澤 繭子



シェアキッチン

〈問〉市内事業者がシェアキッチンについて保健所に相談したところ、原則として認められないとの回答を受けたと聞いています。食品営業をこれから行いたいと考えている人に、初期投資を抑えて営業する手段の一つにシェアキッチンというしくみがあり、創業支援の他にも、子育て世代や女性の自立支援、農産物加工の促進、空き店舗活用など、さまざまな効果も期待できると考えますが、今後どのように対応していくのか伺います。

〈答〉シェアキッチンを一律に認めることは難しいと考えます

が、個々に相談を受ける中で、その内容を踏まえながら適切に対応したいと考えています。



無所属の会
宮崎 裕紀子



前橋テルサの再審査

〈問〉前橋テルサの三回目の公募では、優先交渉権者の選定には至らず、市民から審査は適切だったのかと疑問の声が上がっています。不透明な審査で市民の不信を招いた責任は、重く受け止めるべきです。市が自らの不手際で粛々と審査できない状況を招いたにもかかわらず、審査結果だけを理由に解体するという結論に進むのは、乱暴と言わざるをえません。税金から巨額の費用を出しての解体は、市民の理解を得られません。存続に向けて再度審査を行うべきですが、市長の見解を伺います。



曉鐘
岸川 知己



支える側を守るしくみを

〈問〉少子化や出生率の低下が叫ばれる中、これからの社会において、子育ては社会全体で行

うものという認識は必要不可欠です。気兼ねなく育休制度を利用できる環境を作るためには、支える側の職員を適切に評価し、守るしくみが必要です。伊勢崎市では育児休業等応援加算として、フォロワーに回る同僚を評価する取組が行われています。本市でも、周囲が育休を取得する職員を快く送り出せるような新しい加算制度を導入すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉支える側の職員に対する適切な評価の在り方について、先進自治体の事例など踏まえながら研究していきます。



無所属クラブ
阿久澤 萌



花木農産物直売所さんぽ道

〈問〉赤城南面千本桜まつり期間中は国道三五三号線がたいへん混雑し、途中の花木農産物直売所さんぽ道へ立ち寄る来訪者も少なくなく、大型駐車場の整備がじゅうぶんでないことによる混乱や、普通車が停車してしまい、大型バスが止められない事態も生じたと聞いています。さんぽ道の環境整備についてどのように認識し、改善に向けて取り組んでいくのか伺います。

〈答〉直売所運営主体に混雑時

のソフト面の対応を検討、継続してもらうとともに、環境整備に係る費用について全体の事業バランスを考慮しながら優先度を整理して検討していきたいと考えています。



七星
中林 章



前橋テルサのホールの再開

〈問〉前橋市文化協会や日頃から表現活動をしている多くの市民から、前橋市のホールに関する要望書が提出されました。県民会館閉館後、市民文化会館が約二年間の休館となれば、物理的にホールが少なくなります。文化芸術の活動拠点を減らさないために、せめて前橋テルサのホールを使わせてほしいという多くの市民からの訴えに対し、市長の見解を伺います。

〈答〉民間での活用が見込めない以上、市直営で運営することは考えていません。ホールの再開にも、多額の修繕費が必要になります。次の世代に負担を先送りしないという観点からも、理解してもらいたいと思います。



議案の議決結果

第2回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

●全会一致で可決等された議案

議案	件名	議決結果
第63号	令和8年度前橋市一般会計補正予算	可決
第64号	前橋市市税条例の改正について	可決
第65号	前橋市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の改正について	可決
第69号	前橋市水道事業等の設置等に関する条例及び前橋市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の改正について	可決
第70号	工事請負契約の締結について（前橋工科大学2号館・図書館改築建築工事）	可決
第71号	工事請負契約の締結について（前橋工科大学2号館・図書館改築電気設備工事）	可決
第72号	工事請負契約の締結について（前橋工科大学2号館・図書館改築機械設備工事）	可決
第73号	物品の購入について（高規格救急自動車）	可決
第74号	物品の購入について（屈折はしご付消防自動車）	可決
第75号	物品の購入について（災害対応特殊救急自動車）	可決
第76号	物品の購入について（消防ポンプ自動車ぎ装）	可決
第77号	物品の購入について（消防ポンプ自動車シャーシ）	可決
第78号	公の施設の指定管理者の指定について（前橋市広瀬スポーツ・カルチャーセンター）	可決
第79号	訴えの提起について（自動車撤去請求等）	可決
第81号	農業委員会の委員の任命について〈伊能 良雄氏〉	同意
第82号	農業委員会の委員の任命について〈栗原 博氏〉	同意
第83号	農業委員会の委員の任命について〈澁澤 聖一氏〉	同意
第84号	農業委員会の委員の任命について〈猪岡 正一氏〉	同意
第85号	農業委員会の委員の任命について〈狩野 富一氏〉	同意
第86号	農業委員会の委員の任命について〈井田 健氏〉	同意
第87号	農業委員会の委員の任命について〈小林 要氏〉	同意
第88号	農業委員会の委員の任命について〈平野 豊一氏〉	同意
第89号	農業委員会の委員の任命について〈阿久津 昌枝氏〉	同意
第90号	農業委員会の委員の任命について〈松田 智之氏〉	同意
第91号	農業委員会の委員の任命について〈石井 真帆美氏〉	同意
第92号	農業委員会の委員の任命について〈町田 祐介氏〉	同意
第93号	農業委員会の委員の任命について〈坂爪 久純氏〉	同意
第94号	農業委員会の委員の任命について〈今井 浩一氏〉	同意
第95号	農業委員会の委員の任命について〈小林 市男氏〉	同意
第96号	農業委員会の委員の任命について〈石井 希和氏〉	同意
第97号	農業委員会の委員の任命について〈下田 ひろみ氏〉	同意
第98号	農業委員会の委員の任命について〈鎌塚 智子氏〉	同意
第99号	農業委員会の委員の任命について〈松村 秀憲氏〉	同意
第100号	農業委員会の委員の任命について〈山田 高則氏〉	同意
第101号	農業委員会の委員の任命について〈前原 勝也氏〉	同意
第102号	農業委員会の委員の任命について〈後関 希代一氏〉	同意
第103号	農業委員会の委員の任命について〈加藤 充氏〉	同意
第104号	農業委員会の委員の任命について〈西嶋 友理氏〉	同意
報告	件名	議決結果
第3号	前橋市市税条例等の改正の専決処分について	承認
第4号	前橋市国民健康保険税条例の改正の専決処分について	承認

●賛否が分かれた議案

議案	件名	議決結果
第66号	前橋市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	可決
第67号	前橋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び前橋市幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の改正について	可決
第68号	ジョブセンターまえばしの設置及び管理に関する条例の改正について	可決
第80号	公の施設の指定管理者の指定に係る議決事項の変更について（前橋公園の各公園施設の一部）	可決

賛否の一覧

（○賛成、●反対）

議案番号	会派名 議員名	前橋高志会							前橋令明							共産党			公明党			市民クラブ			前橋豊輪		七	な	会	暁	ク									
		小菅根英明	藤江彰	富田公隆	新井美加	窪田出	須賀博史	近藤登	林倫史	小川真太郎	関俊夫	小沢一明	堤波志芽	横山勝彦	林幸一	市村均光	佐藤祥平	木部秀人	下田一成	水野芳宣	近藤好枝	小林久子	吉田直弘	吉原大輔	中里照代	高橋武	石塚康剛	明野修一	角田和也	三森智之	大澤秀明	山田仁博	間仁田諭	吉田博昭	中林章	入澤繭子	宮崎裕紀子	岸川知己	阿久澤萌	
第66号、第67号、 第68号、第80号		○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 議長は議決に加わらないため「/」で表示しています。

* 会派名：共産党（日本共産党前橋市議会議員団）、公明党（公明党前橋市議会議員団）、市民クラブ（まえばし市民クラブ）、七（七星）、な（なないろ）、会（無所属の会）、暁（暁鐘）、ク（無所属クラブ）

意見書

第二回定例会では、意見書案五件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○第八十三回国民スポーツ大会開催に係る支援強化を求める意見書

本市は、県内最多となる十四競技を担当し極めて大きな役割を担っている。県が主体となり、コンパクト化に関する明確な方針及び具体的な実施の考え方を示し、県全体として統一的方向性を共有することが不可欠であることから、次の事項について県に強く要請する。

①開催市町村の負担軽減を図るため、開催市町村が実際に負担する運営経費総額に対し三分の二を補助する措置を確実に講ずること
②本大会において「コンパクトな国スポ」を実効あるものとするため、県が主体となり、コンパクト化に関する明確な方針及び具体的な実施の考えを示し、県全体として統一的方向性の下での取組を推進すること

○地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は義務的経費の上昇や物価高騰による歳出増の要因が拡大している。

今後も地方自治体が少子高齢化対策や予防医療、DXの推進、地域経済の活性化、防災・減災対策の強化及び老朽化するインフラ整備等の取組を着実に推進することができるよう、地方税財源の充実確保を図る必要があることから、令和九年度地方財政計画に、人件費増や物価高騰対応など、今後とも増大する地方の財政需要を適切に反映するとともに、安定的な財政運営に必要な地方一般財源総額を確保することを強く要請する。

○皇室の伝統に基づく安定的な皇位継承の国会論議促進を求める意見書

二千年に及ぶ歴史と伝統を有する皇室の中で、悠仁親王殿下は皇位継承順位第二位であり、やがて皇位を御継承になられることになる。その一方で、現状の皇室制度のままでは悠仁親王殿下をお支えする男子皇族が一人もおられない事態も

想定せざるを得ない。

皇室の伝統に基づく安定的な皇位継承の維持は、我が国の根幹に関わる重大事であり、悠仁親王殿下が皇位を御継承になられた際にお支えする皇族が十分おいでになるよう法整備を進めていかなければならないことから、国会での論議を進め、一刻も早くその総意を取りまとめるよう強く要望する。

○知的障害者等の意欲と尊厳を守る適切な就労環境整備に関する意見書

障害者の雇用の促進等に関する法律第三条では、「障害者である労働者は、経済社会を構成する労働者の一員として、職業生活においてその能力を発揮する機会を与えられるものとする。」と明記されている。

本来は、一人の貴重な人材として尊重され、働く意欲を最大限生かすことであるにもかかわらず、障害特性に応じた働き方を雇用企業及び仲介業者が共有することなく置き去りにした際の法的監視体制がないことが大きな課題として浮かび

上がっていることから、国においては、知的障害者等の意欲と尊厳を守る適切な就労環境整備に向け、法整備を含めた実効性ある取組の強化を強く要請する。

○ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

我が国では、出生時の体重が二千五百グラム未満の低出生体重児が、約十人に一人の割合で生まれている。特に、医療的なケアや継続的な支援が必要とされる千五百グラム未満の極低出生体重児にとっては、感染症や合併症等のリスクを減らすため、出産後すぐに母乳を与えることが有効とされていることから、低出生体重児等の命を守り、その健やかな成長を支える観点から、次の事項について所要の措置を講じるよう国に強く要望する。

①医療機関がドナーミルクを必要とする乳児に十分提供できるよう、ドナーミルクの法的位置づけを一日も早く明確化すること②ドナーミルクを安定的に供給するため、母乳バンクの運営、ドナーミルクの殺菌処

理及びドナーの検査等に対する支援を行うこと③ドナー登録者数を増やすため、産婦健康診査時や産後ケア等での周知機会の拡大を進めること④ドナーミルクの重要性及び正しい知識について、医療現場及び国民に対し広く普及啓発を図ること

手話言語条例 十周年に伴う取組

第三回定例会の総括質問及び各常任委員会の決算審査において、質問する議員全員が冒頭に手話での自己紹介に挑戦します。

次回定例会

第三回定例会は九月一日(火)から二十五日(金)までの二十五日間を会期として開催されます。八日(火)、九日(水)には総括質問が行われる予定です。十一日(金)、十四日(月)、十五日(火)、十六日(水)の四日間は各常任委員会の決算審査が行われる予定です。

本会議の傍聴は議会庁舎七階で、委員会の傍聴は議会庁舎四階の議会事務局で受け付けます。会議当日、受付に直接お越しください。

会議の様子はインターネット中継でもご覧いただけます。インターネット中継↓

